

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-①	課 名	すこやか健康課
-------------	-----	------------	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	みんなで子育てを支え合い・応援する環境づくり		
戦略事業名	①妊産婦支援事業		
予算事業名	母子保健事業(助産師配置・産後ケア)		
令和4年度実績額	368,000円	令和5年度予算額(6月補正後)	534,000円

事業の概要(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	<p>【助産師配置】 すくすく広場や離乳食教室に助産師を配置し、妊娠・出産・育児に関する相談に対応した。また、第1子の赤ちゃん訪問を助産師が実施した。(助産師訪問数 17組)</p> <p>【産後ケア事業】 概ね産後4か月頃までの産婦を対象に、中山クリニック2階を会場として、助産師による母の心身のケアや授乳・育児相談などを実施した。(実利用者数 8人)</p>	<p>【助産師配置】 すくすく広場や離乳食教室に助産師を配置し、妊娠・出産・育児に関する相談に対応した。また、第1子の赤ちゃん訪問を助産師が実施した。(助産師訪問数 19組)</p> <p>【産後ケア事業】 産後1年以内の産婦を対象に、中山クリニック2階を会場として、助産師による母の心身のケアや授乳・育児相談などを実施した。(実利用者数 3人)</p>	<p>【助産師配置】 すくすく広場や離乳食教室に助産師を配置し、妊娠・出産・育児に関する相談に対応した。また、第1子の赤ちゃん訪問を助産師が実施した。(助産師訪問数19組)</p> <p>【産後ケア事業】 産後1年以内の産婦を対象に、中山クリニック2階を会場として、助産師による母の心身のケアや授乳・育児相談などを実施した。(実利用者数 6人)</p>
	令和5年度(予定)	令和6年度	
	<p>【助産師配置】 すくすく広場や離乳食教室に助産師を配置し、妊娠・出産・育児に関する相談に対応する。また、第1子の赤ちゃん訪問を助産師が実施する。</p> <p>【産後ケア事業】 産後1年以内の産婦を対象に、中山クリニック2階を会場として、助産師による母の心身のケアや授乳・育児相談などを実施する。</p>	(図)	

産後ケアのご案内

産後ケアとは？
産後ケアとは、不安定になりがちな産婦のお母さんの心身のケアや、育児のサポートを行います。子育てで奮闘中のお母さんが、ゆったりとした気持ちで過ごせるよう、助産師がお話をうかがいながらお手伝いします。

ご利用コース

- 1日利用コース | 利用時間 10時～13時 | 利用料金 1,000円/回 (産後ケア)
- 1日利用コース | 利用時間 10時～15時 | 利用料金 1,500円/回 (産後ケア)

利用できる方

お住まいに住所がある、1歳未満までの赤ちゃんとお母さんで、次の項目に該当する方 (お母さんだけでも利用できます)

- お母さんの体調や育児に不安がある方
- お母さん、赤ちゃんともに医療行為が必要のない方

チェック項目に1つでも当てはまる方は、利用していませんか？

- 産後の疲れがなかなか取れない
- 母乳やミルクが足りていないから心配
- 赤ちゃんの寝かしつけが難しい
- 抱っこが難しい
- 産後、家事や育児に追いついてくれない

※ 詳しい内容や利用方法については、チラシの裏面をご覧ください

●お問い合わせ
お問い合わせすこやか健康課(子育て世代包括支援センター)
02779-77115

産後ケア利用の流れ

産後ケア事業の利用には必ず事前予約が必要です。下記に準じて、お申し込みください。

① 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

② 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

③ 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

④ 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

⑤ 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

⑥ 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

⑦ 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

⑧ 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

⑨ 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

⑩ 予約 | すこやか健康課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)
保健福祉課(お母さん専用)51-1 保健福祉センター(2階内)

評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI-数値目標)	妊娠出産に満足している者の割合	⇒	現 状	KPI達成率 (%)	
	基準値 (平成30年度)		71.7%	令和4年度末	71.4%
	目標値 (令和6年度末)		83.7%		

① 数値目標達成状況

達成状況の要因分析	助産師による訪問指導や相談事業では、特に授乳に関して不安を抱きやすい初産婦に対し、具体的な指導を実施できており、産婦の満足度につながっていると考えられる。また、産後ケア事業では、休息を取れずに育児をしている母に休息の機会を提供したり、育児不安を抱える母の相談に対応しており、産後の疲労回復や不安解消につながっていると考えられる。			おおむね達成
目標を見直す場合の考え方	-			

② 事業成果

助産師による訪問指導や相談事業については、授乳や児の体重増加に不安がある産婦に対し、具体的な授乳指導が実施でき、効果的であった。
産後ケア事業については、十分な休息がとれずに育児をしている母が利用することで、母に休息の機会を提供し、産後うつや育児ストレスの軽減につながった。また、育児不安を抱える母へ助産師による育児相談を実施することで、育児不安の解消にもつながった。
産後不安定になりがちな母と子をサポートするために上記の取組を行っており、妊娠・出産に満足している者の割合は71.4%であった。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

特に授乳方法などにおいて、助産師は具体的な指導が実施できるため、授乳に関する不安を抱きやすい初産婦に対して、助産師の訪問指導や相談事業は有意義であることから、今後も継続して実施していく。
また、育児不安を抱えている母や、十分な休息をとれずに育児をしている母に対し産後ケア事業を実施し、助産師による育児相談を行ったり、休息の機会を提供することは、産後うつの予防や育児ストレスの軽減のために必要であると考えられることから、今後も継続し、育児不安や育児疲れがある産婦に対し、心身のケアや休息の機会を提供していく。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

・助産師による訪問活動、相談事業を通じた育児指導や産後ケア事業での育児相談や休息機会の提供が、妊産婦の心身のケアに一定の効果を上げていると考える。
・妊産婦の満足度は令和3年度の79.1%から71.4%に低下した。今後も継続して訪問や相談によるサポートを実施していくとともに、満足していない方にその理由をアンケートで回答してもらいサポートできることを検討するなど、妊産婦の満足度をさらに高める支援のあり方の検討が必要

外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-①	課 名	すこやか健康課
------	-----	-----	---------

戦略分類	1. 子育て支援
取組の方向	みんなで子育てを支え合い・応援する環境づくり
戦略事業名	①妊産婦支援事業
予算事業名	母子保健事業(マザーズカフェ)

令和4年度実績額	35,000円	令和5年度予算額(6月補正後)	72,000円
----------	---------	-----------------	---------

令和2年度	令和3年度	令和4年度
<p>妊産婦を対象に、同じ地域で子育てをしていくための仲間作りを第一の目的に開催している。気軽に参加できてリラックスしてもらえる場として利用できるように、飲み物やおやつを提供も行っている。また、専門職(助産師や歯科衛生士等)によるミニ講座があり、必要な知識を持ち帰ってもらうことや、妊娠生活や育児についての悩みを相談できることを目的に講座を企画している。</p> <p>実績 回数: 年6回(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2回中止) ミニ講座: 産後ヨガ3回 ベビーマッサージ1回 歯みがき講座2回 参加者: 延べ77人(うち妊婦1人)</p>	<p>妊産婦を対象に、同じ地域で子育てをしていくための仲間作りを第一の目的に開催している。気軽に参加できてリラックスしてもらえる場として利用できるように、飲み物やおやつを提供も行っている。また、専門職(助産師や歯科衛生士等)によるミニ講座があり、必要な知識を持ち帰ってもらうことや、妊娠生活や育児についての悩みを相談できることを目的に講座を企画している。</p> <p>実績 回数: 年8回(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2回飲食物の提供を中止) ミニ講座: 産後ヨガ4回 ベビーマッサージ2回 歯みがき講座2回 参加者: 延べ72人(うち妊婦6人)</p>	<p>妊産婦を対象に、同じ地域で子育てをしていくための仲間作りを第一の目的に開催している。気軽に参加できてリラックスしてもらえる場として利用できるように、飲み物やおやつを提供も行っている。また、専門職(助産師や歯科衛生士等)によるミニ講座があり、必要な知識を持ち帰ってもらうことや、妊娠生活や育児についての悩みを相談できることを目的に講座を企画している。</p> <p>実績 回数: 年7回(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から飲食物の提供を中止) ミニ講座: ベビーマッサージ2回 産後ヨガ2回 歯みがき講座1回 授乳のおはなし2回 参加者: 延べ63人(うち妊婦1人)</p>

事業の概要(実績)

令和5年度(予定)	令和6年度
<p>回数: 年8回 ミニ講座: ベビーマッサージ2回 産後ヨガ2回 歯みがき講座2回 助産師によるおはなし2回</p>	



R4.8 保健福祉センターなごみ



R4.5 あつとほ〜むいきいき館

評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	マザーズカフェ利用者数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)	
	基準値 (平成30年度)	年間延べ72人		令和4年度末	年間延べ63人		70.0%
	目標値 (令和6年度末)	年間延べ90人					

① 数値目標達成状況

おおむね達成

達成状況の要因分析	令和4年度は講師のご都合で名田庄の開催を1回中止とし、育児相談や身体計測を行うすくすく広場に変更したこともあり、基準値を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、教室の参加自体を抑える方や、飲食物の提供がないため参加されなかった方などもあった。また、妊婦の参加も少なく、出産や育児に向けて必要な知識を得られる場としての周知が必要であると考えられる。
-----------	--

目標を見直す場合の考え方	—
--------------	---

② 事業成果

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から飲食物の提供を中止し、ミニ講座のみ開催した。ミニ講座の後に子どもの身体計測をしたり、おもちゃを出して自由に遊ぶ時間を設けたりしており、専門職や母親同士で相談・交流できる場となっていた。一方、妊婦の参加数が少なく、周知不足がうかがえる。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

新型コロナウイルス感染症の影響で飲食物の提供を中止したところ、参加者数の減少や交流の少なさが見られた。おやつをみんなで食べながら交流することが、参加者同士で何気ない相談ができる雰囲気を作っていたのだと分かり、妊婦や母親同士の交流を図るため、飲食物の提供を再開していく必要がある。妊婦の参加も少なく、病院によっては両親学級を行っていないところもあるため、妊婦やその夫などが必要な知識を得られるように、助産師と出産・育児に向けた話ができることをもっと周知していく。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響等がありKPIは基準値を下回った。R5年度から妊婦や母親の方々が望んでいると考えられる飲食物の提供を再開しており、参加者を呼び戻していくことが重要
- ・妊婦の参加が少ないため、さまざまな機会を捉えて妊婦への周知を実施していく必要がある。

外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-②	課名	住民窓口課
------	-----	----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	みんなで子育てを支え合い・応援する環境づくり		
戦略事業名	②子育て世代に優しい町PR事業		
予算事業名	(経常)こども家族館管理運営事業		
令和4年度実績額	135,000円	令和5年度予算額(6月補正後)	240,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業の概要(実績)	<p>こども家族館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度から引き続き6月1日まで閉館となった。その後、順次子育て支援のための事業を再開したが、参加定員を設けたり、広い会場に変更するなど、3つの密にならないよう運用を行った。そのため、利用者は例年より減っているが、参加を楽しみにしている人は多く、毎回一定数の利用者があった。</p> <p>また、情報発信については、館内において町の子育て支援施策PRパネルや観光ポスターの掲示などでPRを行った。</p> <p>なお、例年は春と秋に企画展を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p> <p>【令和2年度各事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援プログラム 453名 ・子育てマイスターさんとあそぼう 235名 ・なかよししましょ 227名 ・春秋企画展(中止) 	<p>コロナ禍の状況は変わらず、県下に緊急事態宣言が発令されたことにより、こども家族館は8月7日から9月30日まで休館を余儀なくされた。再開してからも、参加定員を設けたり、広い会場を使用するなど、3つの密にならないよう運用を行った。そのため、利用者は例年より大幅に減少したが、参加を楽しみにしている人は多く、毎回一定数の利用者があった。</p> <p>また、情報発信については、館内において町の子育て支援施策PRパネルや観光ポスターの掲示などでPRを行い、SNSを使っている情報発信も再開した。</p> <p>なお、例年企画展を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春の企画展は無く、秋の企画展も中止となった。</p> <p>【令和3年度各事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援プログラム 434名 ・子育てマイスターさんとあそぼう 294名 ・なかよししましょ 220名 ・秋期企画展(中止) 	<p>リニューアル工事のため1月から3月末まで休館となった。引き続き、コロナ禍であったため、昨年同様、事業の実施については、参加定員を設けたり、広い会場を使用するなど、3つの密にならないよう運用を行った。そのため、今年度も、利用者は例年より減少したが、参加を楽しみにしている人は多く、毎回一定数の利用者があった。</p> <p>また、情報発信については、館内において町の子育て支援施策PRパネルや観光ポスターの掲示などでPRを行い、併せてSNSを使っている情報発信も実施した。</p> <p>なお、令和元年以来となる企画展を冬季に1回実施したが、天候に恵まれず、例年より利用者は少なかった。</p> <p>【令和4年度各事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援プログラム 449名 ・子育てマイスターさんとあそぼう 202名 ・なかよししましょ 170名 ・企画展(冬季) 1,735名
		<p style="text-align: center;">令和5年度(予定)</p> <p>4月15日にリニューアルオープンし、あそび探検ゾーンも再開したため、コロナ禍以前の利用状況にもどりつつある。子育て支援事業等の参加についても、感染症対策を徹底し、できるだけ多くの方に利用していただくよう心がけている。</p> <p>また、リニューアル後はアトラクションも増え、今までより年齢層の高い利用者もあるため、SNSや令和4年度末に導入されたデジタルサイネージを活用し、館内外において町の子育て支援施策の周知を行っていく。</p> <p>なお、今年度から県主催となった企画展等のイベントも活用し、おい町の子育て支援施策をPRしていく。</p> <p>【令和5年度各事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援プログラム 年23回開催 ・子育てマイスターさんとあそぼう 年10回開催 ・なかよししましょ 年8回開催 ・企画展(年2回実施) 	令和6年度



子育て応援プログラム(ふれあいあそび)



子育てマイスターさんとあそぼう(紙人形劇)

評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	イベント入込数			現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成30年度)	年間延べ 22,717人			令和4年度末	
	目標値(令和6年度末)	年間延べ 23,500人	⇒			

① 数値目標達成状況	現状では達成が難しい				
達成状況の要因分析	<p>令和4年度は、リニューアル工事のため1月から3月末まで休館となり、実質9ヶ月間の営業となった。また、コロナ禍のため、あそび探検ゾーンは休止となり、各種事業も利用制限をかけた中での運用であったため、子育て支援事業の参加者数も例年に比べて減少した。企画展も1回実施したが、当日の天候に恵まれず予想よりも参加者が少なかったことなどからKPI達成率は大変低くなった。</p> <p>* 参考に、企画展の目標値は22,000人(2回実施)、子育て支援事業の目標値は1,500人であり、それぞれのKPI達成率は企画展7.9%(1,735人:1回実施)、子育て支援事業54.7%(821人)である。</p>				
目標を見直す場合の考え方	5				

② 事業成果

町子育て支援施策等を啓発するためのパネルなどは常時掲示しており、来館者に対して一定のPR効果はあったと思われる。
しかし、その効果を直接的に移住・定住の促進につなげていくためには、興味を持たれた方に対して、町子育て包括支援センター等の関係機関とも綿密に連携しながら、PRIに取り組んでいく必要があると思われる。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

コロナ禍においても、子育て中の家族の利用は一定数あり、子育てや育児に関する悩みについて、身近な施設で気軽に相談できる環境を整えることは有意義であると思われる。また、イベント時だけでなく、平日においても専門的に相談できる機会を更に増やしていくことが必要であると考え、平成29年度以降、新たな子育て応援プログラムとして「子育てマイスターさんとあそぼう」を年11回(8月除く月1回)開催することとし、保育、医療、看護、保健など子育てに関する国家資格を持つ「子育てマイスター」から、子育てに関する助言を受けたり、悩みや不安に関する相談ができる機会を創出しており、リニューアルオープンにより利用者も増えている中、感染症対策を徹底しながら、他の相談の機会と併せてアフターコロナにも対応していきたい。

④ 内部評価結果(①～③)を踏まえた評価)

・新型コロナウイルス感染症の制限緩和やリニューアル工事完了に伴い来館者は前年度から増加しており、今後さらに増えることが期待される。
・多くの来館者が見込まれる企画展等において関係機関とも連携して町の子育て支援施策をPRし、移住や定住の促進に繋げていくことが重要



外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-③	課 名	住民窓口課
------	-----	-----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	③保育料負担軽減事業		
予算事業名	大飯地区認定こども園運営委託等事業		
令和4年度実績額	343,518,448円	令和5年度予算額(6月補正後)	349,806,000円

事業の概要 (実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 ※R2園児数278人(定員300人)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 ※R3園児数275人(定員300人)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 ※R4園児数278人(定員300人)
	令和5年度(予定)	令和6年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 	/	
		(画像等貼付)	

評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	入園率			現 状	KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)	88.7%	⇒	令和4年度末	92.7%
	目標値 (令和6年度末)	90.0%			

① 数値目標達成状況 達成

達成状況の要因分析	ここ数年未満児からの入園が増加しており、特に1歳児からの入園が増加傾向にあり、園児数は安定している。しかし、出生数は徐々に減少しており、今後は園児数の減少も考えられる。今後も保育内容の充実に努め、保護者や地域から信頼される園作りを目指し、就園率アップに心掛ける。 ※なお、入園希望者については100%就園している(待機児童なし)
目標を見直す場合の考え方	-

② 事業成果

国の幼児教育、保育無償化に併せて、第1子0歳から2歳児の保育料軽減、第2子以降保育料無償化、3歳から5歳児の副食費の無償化を行うことにより、保護者の経済的負担が軽減された。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

保育料の負担を軽減することにより、子どもを園に預けやすくなるとともに、保護者の働きやすい環境が整えられる。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

保育にかかる経済的な負担を軽減することで子どもを預けやすい環境を整えた結果、KPIの達成に向けて順調。今後も、継続して保育内容の充実に努めていくことが重要



外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-③	課 名	住民窓口課
------	-----	-----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	③保育料負担軽減事業		
予算事業名	名田庄こども園運営事業		
令和4年度実績額	60,641,847円	令和5年度予算額(6月補正後)	68,476,000円

事業の概要 (実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 ※R2園児数86人(定員90人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 ※R3園児数81人(定員90人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 ※R4園児数77人(定員90人)
	令和5年度(予定)	令和6年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 	(斜線表示)	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  (画像等貼付)  </div>			

評 価 (Check)					
成果を測る指標 (KPI・数値目標)	入園率			現 状	KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)	88.7%	⇒	令和4年度末	85.6%
	目標値 (令和6年度末)	90.0%			

① 数値目標達成状況	おおむね達成
達成状況の要因分析	<p>ここ数年未満児からの入園が増加しており、特に1歳児からの入園が増加傾向にあり、園児数は安定している。しかし、出生数は徐々に減少しており、今後は園児数の減少も考えられる。今後も保育内容の充実に努め、保護者や地域から信頼される園づくりを目指し、就園率アップを心掛ける。</p> <p>※なお、入園希望者については100%就園している。(待機児童なし)</p>
目標を見直す場合の考え方	—

② 事業成果

国の幼児保育、保育無償化に併せて、第1子0歳から2歳児の保育料軽減、第2子以降保育料無償化、3歳から5歳児の副食費の無償化を行うことにより、保護者の経済的負担が軽減された。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

保育料の負担を軽減することにより、子どもを園に預けやすくなるとともに、保護者の働きやすい環境が整えられる。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

保育にかかる経済的な負担を軽減することで子どもを預けやすい環境を整えた結果、KPIの達成に向けて順調。今後も、継続して保育内容の充実に努めていくことが重要


外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-④	課 名	すこやか健康課
------	-----	-----	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	④にこにこ赤ちゃん応援事業		
予算事業名	にこにこ赤ちゃん応援事業		
令和4年度実績額	2,807,770円	令和5年度予算額(6月補正後)	1,011,443円

事業の概要(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	乳幼児の子育てに係る経済的負担を軽減することを目的として、満2歳誕生日までの乳幼児を養育する保護者に対して、おむつ購入費年間最大24,000円の助成を行う。 【実績】 対象乳幼児: 184人 支給人数 : 158人(子の数: 168人) 申請率91.3% ※限度額合計: 3,246,000円 支給額合計: 2,692,958円	乳幼児の子育てに係る経済的負担を軽減することを目的として、満2歳誕生日までの乳幼児を養育する保護者に対して、おむつ購入費年間最大24,000円の助成を行う。 【実績】 対象乳幼児: 149人 支給人数 : 115人(子の数: 131人) 申請率87.9% ※限度額合計: 3,264,000円 支給額合計: 2,935,618円	乳幼児の子育てに係る経済的負担を軽減することを目的として、満2歳誕生日までの乳幼児を養育する保護者に対して、おむつ購入費年間最大24,000円の助成を行う。 【実績】 対象乳幼児: 193人 支給人数 : 150人(子の数: 172人) 申請率89.1% ※限度額合計: 3,182,000円 支給額合計: 2,781,019円
	令和5年度(予定)	令和6年度	
	乳幼児の子育てに係る経済的負担を軽減することを目的として、令和3年度生まれの満2歳誕生日までの乳幼児を養育する保護者に対して、おむつ購入費年間最大24,000円の助成を行う。 【予算】 対象乳幼児 : 70人 ※限度額合計: 1,000,000円	/	
			

評 価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	—	⇒	現 状	KPI達成率(%)	
	基準値 (平成30年度)		—	令和4年度末	
	目標値 (令和6年度末)		—		

① 数値目標達成状況				
達成状況の要因分析				
目標を見直す場合の考え方				

② 事業成果

満2歳誕生日までの乳幼児を養育する保護者への経済的支援が図れた。また未申請者には、電話により、申請を促した。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

令和4年度生まれから出産子育て応援金※を支給する関係で、おむつ購入費助成は令和3年度生まれのみの支給となるが、未申請の人に早めに連絡し、申請を促すようにしたい。
※妊娠届を出した方に5万円、出生届を出した方に5万円を支給

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

乳幼児を養育する保護者への経済的支援の観点から重要な事業となっており、今後も継続して取り組んでいく必要がある(R6年度以降は出産子育て応援金の支給に変更)

外部評価の結果



(委員) 令和4年度の実績額と比べて令和5年度は予算額が半分以下になっており、対象乳幼児の数も令和4年度の193人に対して令和5年度は70人に減っているのはなぜか。

⇒ 令和5年1月から国の新たな出産子育て応援交付金制度が始まり、妊娠届を出された方と出生届を出された方にそれぞれ5万円が支給されるようになった。子育て支援拡充の趣旨から、おむつ購入費に限っていたこれまでの助成金に代えてより幅広く使っていただけの当該交付金を1月から支給開始したところ。ただし、これまでのおむつ購入費の助成については、令和4年度に助成を始めた乳幼児だけは令和5年度も引き続き助成を行うため、予算も対象乳幼児数も限定的なものになっている。

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-④	課 名	すこやか健康課
-------------	-----	------------	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	④にこにこ赤ちゃん応援事業		
予算事業名	予防事業(小児インフルエンザ予防接種費助成)		
令和4年度実績額	863,750円	令和5年度予算額(6月補正後)	1,270,400円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業の概要(実績)	【概要】 小児インフルエンザの予防接種費用の一部を助成することにより、小児におけるインフルエンザの発症及び重症化を予防するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。 対象者: 年度初日において満1歳～小学校6年生まで 助成額: 接種費用の1/2(1回 1,850円を上限、十円未満切り捨て) 助成回数: 2回まで 助成する接種期間: 10月～翌年1月31日 【実績】 対象者数 834人 1回 207人 2回 379人 接種率 70.26%	【概要】 小児インフルエンザの予防接種費用の一部を助成することにより、小児におけるインフルエンザの発症及び重症化を予防するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。 対象者: 年度初日において満1歳～小学校6年生まで 助成額: 接種費用の1/2(1回 1,850円を上限、十円未満切り捨て) 助成回数: 2回まで 助成する接種期間: 10月～翌年1月31日 【実績】 対象者数 828人 1回 134人 2回 324人 助成率 55.31%	【概要】 小児インフルエンザの予防接種費用の一部を助成することにより、小児におけるインフルエンザの発症及び重症化を予防するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。 対象者: 年度初日において満1歳～小学校6年生まで 助成額: 接種費用の1/2(1回 1,850円を上限、十円未満切り捨て) 助成回数: 2回まで 助成する接種期間: 10月～翌年1月31日 【実績】 対象者数 785人 1回 110人 2回 237人 助成率 44.20%	
		令和5年度(予定)	令和6年度	
		【概要】 小児インフルエンザの予防接種費用の一部を助成することにより、小児におけるインフルエンザの発症及び重症化を予防するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。 対象者: 年度初日において満1歳～小学校6年生まで 助成額: 接種費用の1/2(1回 1,850円を上限、十円未満切り捨て) 助成回数: 2回まで 助成する接種期間: 10月～翌年1月31日 【予算】 1,600円×794人	(付)	
				
				

評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	—	—	—	現 状	KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)	—	—	⇒ 令和4年度末	
	目標値 (令和6年度末)	—	—		

① 数値目標達成状況	
達成状況の要因分析	
目標を見直す場合の考え方	

② 事業成果

子どものインフルエンザの蔓延防止に努めるために接種を促すとともに、接種費用の一部を助成し、保護者の経済的負担を軽減するとともに、医療機関における助成金の代理受領の実施することで、助成金申請手続きに係る負担を軽減することができた。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

新型コロナウイルスが完全に収束していない中で、感染症全般の予防が必要だと考える。インフルエンザの助成の案内と同時に、インフルエンザワクチンの効果や適切な接種時期などの正しい知識も周知できるよう務める。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

接種費用の一部を助成し、保護者の経済的負担を軽減することができているだけでなく、医療機関による助成金の代理受領を実施することにより、保護者の助成金申請手続きの負担も軽減することができている。

外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-⑤	課名	住民窓口課
------	-----	----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	⑤子育て支援医療費助成事業		
予算事業名	子育て支援医療費助成事業		
令和4年度実績額	27,715,416円	令和5年度予算額(6月補正後)	26,681,000円

事業の概要(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	<p>18歳以下の子供たちに係る医療費の自己負担額を助成することで、子育て世帯に対する経済的な支援を行い、児童福祉の増進を図った。</p> <p>※0歳から18歳に達した年の3月31日までの子どもが助成対象</p>	<p>18歳以下の子供たちに係る医療費の自己負担額を助成することで、子育て世帯に対する経済的な支援を行い、児童福祉の増進を図った。</p> <p>※0歳から18歳に達した年の3月31日までの子どもが助成対象</p>	<p>18歳以下の子供たちに係る医療費の自己負担額を助成することで、子育て世帯に対する経済的な支援を行い、児童福祉の増進を図った。</p> <p>※0歳から18歳に達した年の3月31日までの子どもが助成対象</p>
	令和5年度(予定)	令和6年度	
	<p>18歳以下の子供たちに係る医療費の自己負担額を助成することで、子育て世帯に対する経済的な支援を行い、児童福祉の増進を図る。</p> <p>※0歳から18歳に達した年の3月31日までの子どもが助成対象</p>	(斜線表示)	

支払月	2022年度																	
	現物分						償還分						町単独補助事業費		県補助事業費		合計	
	町費分		県費分		現物計		子育て町費		子育て県費		償還計		件数	金額	件数	金額	件数	金額
4	93	475,100	558	1,019,322	651	1,494,422	35	77,150	104	230,910	139	308,060	128	552,250	662	1,250,232	790	1,802,482
5	119	503,721	811	1,500,194	930	2,003,915	14	130,929	81	220,012	95	350,941	133	634,650	892	1,720,206	1,025	2,354,856
6	90	432,385	798	1,329,274	888	1,761,659	6	20,150	59	120,780	65	140,930	96	452,535	857	1,450,054	953	1,902,589
7	95	445,558	763	1,415,865	858	1,861,423	16	86,590	77	166,689	93	242,579	111	532,078	840	1,571,924	951	2,104,002
8	100	389,454	715	1,374,777	815	1,764,231	15	44,175	103	310,338	118	354,513	115	433,629	818	1,685,115	933	2,118,744
9	115	455,877	714	1,345,431	829	1,801,308	10	96,847	62	207,850	72	304,697	125	552,724	776	1,553,281	901	2,106,005
10	116	529,546	792	1,659,983	908	2,189,529	11	18,480	49	95,580	60	114,060	127	548,026	841	1,755,563	968	2,303,589
11	98	381,957	767	1,601,311	865	1,983,268	9	30,340	63	163,480	72	193,820	107	412,297	830	1,764,791	937	2,177,088
12	93	391,544	841	1,652,859	934	2,044,403	6	32,470	95	241,620	101	274,090	99	424,014	936	1,894,479	1,035	2,318,493
1	110	433,854	915	1,788,797	1,025	2,222,651	17	50,850	86	140,550	103	191,400	127	484,704	1,001	1,929,347	1,128	2,414,051
2	114	525,967	1,020	2,020,740	1,134	2,546,707	21	68,830	77	142,515	98	211,345	135	594,797	1,097	2,163,255	1,232	2,758,052
3	104	446,506	821	1,836,497	925	2,283,003	6	38,780	96	172,795	102	211,575	110	485,286	917	2,009,292	1,027	2,494,578
小計	1,247	5,411,469	9,515	18,545,050	10,762	23,956,519	166	695,521	952	2,202,489	1,118	2,898,010	1,413	6,106,990	10,467	20,747,539	11,880	26,854,529

評価(Check)					
成果を測る指標(KPI・数値目標)	—	⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値 (平成30年度)		—	令和4年度末	
	目標値 (令和6年度末)		—		

① 数値目標達成状況	
達成状況の要因分析	
目標を見直す場合の考え方	—

② 事業成果

令和4年度において、延べ11,880件、26,854,529円の医療費助成を行うことができた。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

子どもの1人当たりの年間の医療費やデータを収集し、予算確保に努める。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

子育て世帯を経済的に支援するための重要な施策であり、今後も継続して取り組んでいく必要がある。

外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-⑥	課 名	住民窓口課
------	-----	-----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	⑥妊婦等医療費助成事業		
予算事業名	妊婦等医療費助成事業		
令和4年度実績額	2,106,990円	令和5年度予算額(6月補正後)	2,727,000円

事業の概要(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	母子手帳の交付から出産の約2か月後までの妊婦及び産婦への医療費助成を行うことで、妊婦、産婦がいる世帯に対して経済的な支援を行った。	母子手帳の交付から出産の約2か月後までの妊婦及び産婦への医療費助成を行うことで、妊婦、産婦がいる世帯に対して経済的な支援を行った。	母子手帳の交付から出産の約2か月後までの妊婦及び産婦への医療費助成を行うことで、妊婦、産婦がいる世帯に対して経済的な支援を行った。
	令和5年度(予定)	令和6年度	
	母子手帳の交付から出産の約2か月後までの妊婦及び産婦への医療費助成を行うことで、妊婦、産婦がいる世帯に対して経済的な支援を行う。		

妊婦等医療費助成支給実績															
												予算額	執行額	予算残	執行率
												2,617,567	2,082,072	535,495	79.54%
令和4年度支給状況															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	単位
人数	9	8	8	9	6	9	9	10	6	8	3	8	93	7.75	人
件数	33	54	34	60	14	54	19	50	25	42	10	47	442	36.83	件
支給額	126,290	267,570	120,650	513,382	15,650	111,510	76,120	435,380	32,290	129,150	104,220	149,870	2,082,072	173,506	円
※一人当たり	22,388 円														
(画像等貼付)															
内訳(入院分)															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	単位
件数	2	6	2	5	1	3	1	5	0	2	1	3	31	2.58	件
支給額	61,090	189,400	63,690	390,262	50	39,460	38,280	362,410	0	37,420	85,200	73,620	1,340,872	111,739	円
※1件当たり	43,254 円														
内訳(外来その他分)															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	単位
件数	31	48	32	55	13	51	18	45	25	40	9	44	411	34.25	件
支給額	65,190	78,170	56,970	123,120	15,600	72,050	37,840	72,970	32,290	91,730	19,020	76,250	664,950	61,767	円
※一人当たり	7,150 円														

評 価 (Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	—	⇒	現 状		KPI達成率(%)	
	基準値 (平成30年度)		—	令和4年度末		
	目標値 (令和6年度末)		—			

① 数値目標達成状況	
達成状況の要因分析	
目標を見直す場合の考え方	—

② 事業成果

・認定者数 46名
・支給件数 のべ442件
・助成額 2,082,072円

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

里帰り出産等県外の医療機関の診療事例が多く、申請確認作業において、他の事業(妊婦検診への補助等)への申請漏れが発生しないよう、連携をとっての確認が必要であると感じられた。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

妊婦及び産婦にかかる医療費の助成を通じて、子育て世帯を支援していくために町が独自に実施している施策であり、今後も継続して取り組んでいく必要がある。


外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-⑦	課 名	学校教育課
------	-----	-----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	⑦高等学校等通学費支援事業		
予算事業名	高等学校等通学費支援事業		
令和4年度実績額	7,182,100円	令和5年度予算額(6月補正後)	7,797,000円

事業の概要(実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	<p>【概要】 高等学校等に就学する生徒の通学に要する経費補助 高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び専修学校高等課程に修学する生徒の通学に要する経費の一部を助成することにより、その保護者の負担を軽減し、もって本町における子育て環境の整備を図る。 補助額: 通学に要する公共交通機関の定期乗車券購入費の1/2 (助成限度額 1箇月10,000円/人)</p> <p>【実績】 助成実人数 大飯地域 135人 4,571,200円 名田庄地域 32人 1,727,400円 合計 167人 6,298,600円</p> <p>事業開始年度: 平成22年度</p>	<p>【概要】 高等学校等に就学する生徒の通学に要する経費補助 高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び専修学校高等課程に修学する生徒の通学に要する経費の一部を助成することにより、その保護者の負担を軽減し、もって本町における子育て環境の整備を図る。 補助額: 通学に要する公共交通機関の定期乗車券購入費の1/2 (助成限度額 1箇月10,000円/人)</p> <p>【実績】 助成実人数 大飯地域 140人 4,719,900円 名田庄地域 39人 2,009,900円 合計 179人 6,729,800円</p> <p>事業開始年度: 平成22年度</p>	<p>【概要】 高等学校等に就学する生徒の通学に要する経費補助 高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び専修学校高等課程に修学する生徒の通学に要する経費の一部を助成することにより、その保護者の負担を軽減し、もって本町における子育て環境の整備を図る。 補助額: 通学に要する公共交通機関の定期乗車券購入費の1/2 (助成限度額 1箇月10,000円/人)</p> <p>【実績】 助成実人数 大飯地域 136人 4,828,700円 名田庄地域 41人 2,353,400円 合計 177人 7,182,100円</p> <p>事業開始年度: 平成22年度</p>
	令和5年度(予定)	令和6年度	
<p>【概要】 高等学校等に就学する生徒の通学に要する経費補助 高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び専修学校高等課程に就学する生徒及び令和5年度より対象に追加した町外中学校及び特別支援学校中等部に修学する生徒の通学に要する経費の一部を助成することにより、その保護者の負担を軽減し、もって本町における子育て環境の整備を図る。 補助額: 通学に要する公共交通機関の定期乗車券購入費の1/2 ※令和5年度より助成限度額 1箇月10,000円/人を廃止</p> <p>【予定】 助成対象人数 大飯地域 高校生等: 154人、中学生等: 7人 名田庄地域 高校生等: 58人 中学生等0人 合計 高校生等: 212人 中学生等: 7人 7,797,000円</p> <p>事業開始年度: 平成22年度</p>			

評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	利用率	⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)		82.1%	令和4年度末	84.7%
	目標値 (令和6年度末)				

① 数値目標達成状況	達成
達成状況の要因分析	高等学校等に通学しているすべての生徒が最寄りのバス停から公共交通機関を利用し通学しているのではなく、保護者の通勤に合わせて通学している生徒が毎年一定数いることから、通学費助成の利用については例年横ばいで推移している。ただし、毎年、対象者数に変動があるため、令和4年度については達成した。
目標を見直す場合の考え方	19

② 事業成果

高等学校等に就学する生徒の保護者に対し、経済的サポートができた。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

事業開始から12年が経過したが、これまで子育て環境における支援の効果検証は行っていない。
引き続き、制度について広く周知を行うとともに、アンケート調査等による効果検証を行うことを検討する。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

保護者の通勤に合わせて通学している生徒等が一定数いるため、例年利用率は概ね横ばいではあるものの、令和4年度はKPIを達成しており、子育て家庭の経済的なサポートにつながっている。


外部評価の結果

意見等なし

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-⑧	課 名	学校教育課
------	-----	-----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	⑧進学サポート事業		
予算事業名	進学サポート事業		
令和4年度実績額	31,836,034円	令和5年度予算額(6月補正後)	40,136,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業の概要(実績)	【概要】 大学や短期大学、専門学校等に進学する学生の保護者に対し、月額20,000円(最高4年分:960,000円(所得要件あり))を給付することにより、修学意欲のある学生の家庭を援助するとともに、該当学生に対し、町の情報発信を行い、ふるさと”おい”を思う気持ちを醸成する。 【実績】 上期(給付)152人 18,240,000円 下期(給付)156人 18,720,000円 合計 延べ308人 36,960,000円 アンケート調査 対象者:152人 設問:13問+自由意見 回答:95人	【概要】 大学や短期大学、専門学校等に進学する学生の保護者に対し、月額20,000円(最高4年分:960,000円(所得要件あり))を給付することにより、修学意欲のある学生の家庭を援助するとともに、該当学生に対し、町の情報発信を行い、ふるさと”おい”を思う気持ちを醸成する。 【実績】 上期(給付)145人 17,400,000円 下期(給付)143人 17,160,000円 合計 延べ288人 34,560,000円 アンケート調査 対象者(保護者):125人 設問:10問 回答:97人	【概要】 大学や短期大学、専門学校等に進学する学生の保護者に対し、月額20,000円(最高4年分:960,000円(所得要件あり))を給付することにより、修学意欲のある学生の家庭を援助するとともに、該当学生に対し、町の情報発信を行い、ふるさと”おい”を思う気持ちを醸成する。 【実績】 上期(給付)133人 15,960,000円 下期(給付)132人 15,840,000円 合計 延べ265人 31,800,000円 アンケート調査 対象者:132人 設問:15問 回答:68人
	令和5年度(予定)	令和6年度	
	【概要】 大学や短期大学、専門学校等に進学する学生の保護者に対し、月額20,000円(最高6年分:1,440,000円(所得要件なし))を給付することにより、修学意欲のある学生の家庭を援助するとともに、該当学生に対し、町の情報発信を行い、ふるさと”おい”を思う気持ちを醸成する。 【予定】 上期(給付)167人 20,040,000円 下期(給付)167人 20,040,000円 合計 延べ330人 40,080,000円	(この欄は斜線が入っています)	
			

評 価 (Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	—	—	⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値 (平成30年度)			—	令和4年度末	—
	目標値 (令和6年度末)	—				

① 数値目標達成状況			
達成状況の要因分析	当該事業におけるKPI・数値目標は設定されていないが、保護者等に対する経済的サポートの面において、事業目的を達成することができた。 今後も引き続き、修学意欲のある若者の未来を応援するため、国内の大学等に在学する者を扶養する保護者等への経済的支援を図るとともに、学生に対する町の情報発信に努めたい。		
目標を見直す場合の考え方	—		

② 事業成果

国内の大学等に在学する者の保護者等に対し、経済的サポートができた。
また、学生に対し、奨学金の利用の有無、卒業後に地元に戻る(予定)かどうか、進学サポート事業の必要性等についてアンケートを行った。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

給付対象学生を対象に、町からのイベント情報・広報誌発刊情報・就職情報をメール配信するとともに、給付対象学生の保護者を対象に、事業の必要性及び給付金の用途、また、町内子育て支援策の有効性等について調査し検証している。
引き続き、町からメールによる情報発信を積極的に行うとともに、アンケートについては、学生の就職に関する意識調査に重点を置いて調査を実施。その結果を担当各課等と共有し、学生が求める情報の提供に努める。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

修学意欲のある学生および保護者を経済的にサポートするおおい町独自の制度。給付を行った学生やその保護者に情報発信等を行い、Uターンなどに繋げていくことが重要

外部評価の結果

非常に手厚い事業でありもらう側にとってはありがたい一方、この事業にかけた予算がどれだけ町にフィードバックされるのか疑問。支援を受けた子どもが町に帰ってくることが条件付けられているわけでもなく、もらいっぱなしの子どももいる。例えば若い人がたくさん使うSNSで町をPRしてもらおうとか、条件を付けてもよいのかなと思う。

第2次おい町未来創生戦略 事業評価シート

整理番号	1-⑨	課 名	すこやか健康課
------	-----	-----	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	不妊等の支援		
戦略事業名	⑨不妊治療費助成事業		
予算事業名	母子保健事業		
令和4年度実績額	1,373,195円	令和5年度予算額(6月補正後)	760,000円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業の概要(実績)	<p>次世代育成支援の一環として、子どもを生きやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部助成を行い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことを目的とする。</p> <p>*上限30万円/年 年齢制限、回数制限なし</p> <p>・人工授精…1人 ・体外(顕微)受精…5人 (4人が妊娠) (実人数5人)</p>	<p>次世代育成支援の一環として、子どもを生きやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部助成を行い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことを目的とする。</p> <p>*上限30万円/年 年齢制限、回数制限なし</p> <p>・人工授精…2人 ・体外(顕微)受精…3人 (1人が妊娠) (実人数5人)</p>	<p>次世代育成支援の一環として、子どもを生きやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部助成を行い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことを目的とする。(R4.4～医療保険適用)</p> <p>*上限30万円/年 年齢制限、回数制限なし</p> <p>・タイミング療法…2人 ・体外(顕微)受精…9人 (6人が妊娠) (実人数11人)</p>
	<p style="text-align: center;">令和5年度(予定)</p> <p>次世代育成支援の一環として、子どもを生きやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部助成を行い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことを目的とする。</p> <p>【予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険適用の自己負担分 60,000円×6人 ・保険適用外(人工授精) 100,000円×1人 ・保険適用外(体外受精) 300,000円×1人 	令和6年度	

おい町不妊治療費助成金の申請について

不妊治療を受ける方の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすため、不妊治療に要する費用の一部を助成しています。

対象となる方(申請対象者)

- ・妊娠希望を有し、医学上の原因が不明な不妊症と診断されており、治療を受けたいが、おおい町に1年以上在住の方
- ・不妊治療に要する費用の一部を助成するため、おおい町に1年以上在住の方
- ・医療費自己負担額が10万円以内の方
- ・妊娠希望を有している方

対象となる治療

- ・体外(顕微)受精
- ・人工授精

申請期間

令和5年度は、令和5年10月1日～令和5年12月31日までです。

申請方法

おおい町子育て支援センター(子育て世代包括支援センター)に申請書と必要書類を提出してください。

詳しくは町のホームページをご覧ください。
申請書ダウンロードができます。

すこやか健康課(子育て世代包括支援センター) ☎ 0770-77-1155

おい町不妊治療費助成金 申請のながれ

1. 申請書提出

2. 審査

- ・審査合格の場合、おおい町子育て支援センター(子育て世代包括支援センター)から申請書が送付されます。
- ・審査不合格の場合、おおい町子育て支援センター(子育て世代包括支援センター)から審査理由が送付されます。

3. 申請書の提出

4. 審査結果の通知

5. 申請書の提出

6. 審査結果の通知

7. 申請書の提出

8. 審査結果の通知

9. 申請書の提出

10. 審査結果の通知

11. 申請書の提出

12. 審査結果の通知

評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	—		現 状	KPI達成率(%)
	基準値 (平成30年度)	—	⇒ 令和4年度末	
	目標値 (令和6年度末)	—		

① 数値目標達成状況				
達成状況の要因分析				
目標を見直す場合の考え方				

② 事業成果

子どもを産みやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部助成を行い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことができました。

③ これまでの取組で得られたノウハウや昨年度までの事業評価を反映した今後の方針

ノウハウの内容、内部評価・外部評価の反映、目標達成に向けた今後の方針など

令和4年度の申請では、タイミング療法が2人、体外(顕微)受精が9人おり、そのうち6人が妊娠につながった。引き続き、広報誌やホームページを活用し、町の不妊治療費助成制度について周知を図っていく。

④ 内部評価結果(①～③を踏まえた評価)

不妊治療を受けている夫婦の経済的な負担を軽減し妊娠機会の増加につなげる重要な事業。今後も各種媒体を活用して、制度の周知に努めていくことが重要

外部評価の結果

意見等なし